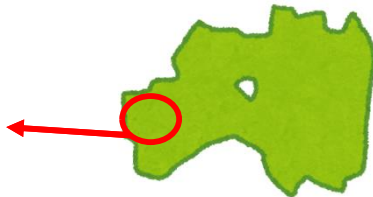


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(30年度:只見町農業再生協議会) (福島県)

取組の概要

計画作成主体 : 只見町農業再生協議会
 対象品目 : 施設野菜 (トマト)
 (産地面積 8.2ha)
 主な取組主体 : (株)伊南川ほか1社、農業者3名
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準 (H29年度) 239,197千円
 目標 (R2年度) 270,880千円
 導入施設等 : 生産支援事業 (パイプハウス22棟、パイプハウス付帯設備12か所、かん水同時施肥装置リース3か所)

福島県
只見町
全域



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

近年、産地間競争の激化により、歴史ある「南郷トマト」ブランドの維持が難しくなっている。また、高齢化に伴い、毎年、離農者がいることから、新規就農者を確実に確保し就農のための条件整備を行うとともに、今後とも継続してブランドを維持・拡大するためには、高品質生産と栽培面積拡大、単収向上を図ることが必要である。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①パイプハウス及びかん水同時施肥栽培装置を導入する。
- ②就農前に先進農家での栽培研修を1~2年間実施することにより、新規就農者の栽培技術習得を支援。
- ③低単収の組合員に対し、個別指導を行うことで、栽培技術の平準化を図り、販売額を増加させる。
- ④組合員全員のエコファーマー取得や、放射性物質の自主検査の実施などにより安全・安心なトマトを供給する。

推進体制

・南会津農林事務所
 ・只見町
 ・JA会津よつば

只見町農業再生協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(県、町)及びJAによるサポート体制

取組主体
 ①取組計画の作成
 ②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・選果基準及び栽培マニュアル作成
- ・定期的な栽培技術講習会等の開催
- ・町単独事業により、国県補助事業への上乗せ補助(上限7割)等を実施

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①パイプハウス導入・かん水同時施肥装置リース支援による初期投資の低減効果
- ②栽培面積の増加による農業所得の向上
- ③作物の高品質化・収量確保

【事業実施による間接効果】

- ①新規栽培者が増えることによる産地規模の維持・拡大
- ②農業所得及び雇用の増加による地域への経済効果の向上
- ③品質向上・収量確保により、「南郷トマト」ブランドの維持・拡大

**販売額が
17%増加
(達成率104%)**

